

Press Release

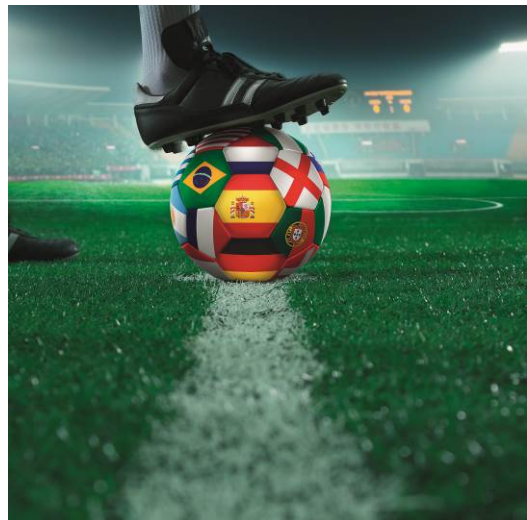
2014年6月4日

(本プレスリリースは6月2日にドイツ・ヘンケル本社発表のプレスリリース翻訳版です。)

2014年ワールドカップ:ボールやシューズを支えるヘンケルの接着剤 実は、接着剤もサッカーの試合に影響を与えています！

あと2週間足らずで再び、メッシ、ロナウド、ルーニーら選手たちが世界中の注目を浴びるでしょう。2014年のワールドカップにおけるスターとして歴史に名を残すのは誰でしょうか。滅多に脚光を浴びることはありませんが、シューズやボールにも言いたいことがあるかもしれません。

今日、サッカーはかつてない程スピーディーに、またダイナミックになっています。それには選手たちの運動能力に加えて、シューズやボールの進歩も一役買っています。革新的なテクノロジーによって作られたシューズやボールは、メッシのようなトップクラスのプロが正確さを極め、ゴールチャンスを狙う際の一助となっているのです。



最新の接着剤により、現在のサッカーシューズはペレの時代に比べて著しく軽量化されています。メッシが履くシューズのような高性能モデルの重量はわずか100g未満です。そのおかげで選手はより速く動き、エネルギーを節約し、持久力をアップすることができるようになりました。さらに最近の超軽量モデルは縫製ではなく、革新的な素材を高性能接着剤で貼り合わせて作られているため非常に頑丈です。

ヘンケルはグローバルブランドメーカー向けの特殊接着剤のソリューションプロバイダー大手です。シューズのタン、アイレット、トゥキャップ、ヒールカウンター、さまざまなインレー用のフォーム材など、最近ではすべてが接着剤で所定の位置に貼り付けられています。ソールも同様で、いくつかのパーツで構成されており、それぞれをアッパーに貼り付けなければなりません。ここでも高性能の接着剤が必要とされます。ヘンケルの最新開発製品のひとつがポリウレタン接着剤です。この製品はアッパーとソールを一塗り、一工程でしっかりと接着します。つまりメーカーは接着剤の消費量を削減し、生産におけるサステナビリティを向上することができます。

高品質の試合用ボールも同様です。もはや革は使用されておらず、先端素材のプラスチックに取って代わられています。針と糸の縫製技術は過去のものとなり、パネル部品は接着剤で貼り合わされています。表面に継ぎ目がないため、ボールの耐摩耗性は最高レベルとなり、飛行性能が向上し、雨天の試合が続く場合にも水分の吸収が抑えられます。

つまり、今年のワールドカップは技術的にベストなコンディションのもとで行われるというわけです。ファンにできることは最高の幸運と、応援するチームの絆がしっかりと結ばれていることを祈るのみです。

ヘンケルについて

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー&ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズブテクノロジーズ(接着技術)の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil (パーシル)、Schwarzkopf(シュワルツコフ)、Loctite(ロックタイト)などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は約47,000人であり、2013年度の売上高は163億5千5百万ユーロ、調整後の営業利益は25億1千6百万ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数 DAX のリストに入っております。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

写真素材は以下より入手できます: <http://www.henkel.com/press>

— 本件に関するお問合せ先 —
ヘンケルジャパン株式会社 広報室 黒木
TEL: 045-758-1707 e-mail: takeshi.kuroki@jp.henkel.com

— 本件に関する報道関係者のお問合せ先 —
ヘンケルジャパン株式会社
広報代行: 共同 PR 高田 Tel: 03-3571-5236